

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日:2023年 12 月 20 日

事業所名:ガリレオ六甲道

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用者が多いときは狭く感じるところもある。	はい22名、どちらともいえない2人、無回答3名 運動するにはスペースが狭いとの意見もあった。	整理整頓を行い不要なものを廃棄していく
	2 職員の適切な配置	通常職員配置も最低基準を上回る人数を確保しているが、曜日により職員配置は最低基準で配置している。ドライバーも含め改善の余地がある。	はい13名、どちらともいえない3人、無回答3名 職員の入れ替わりが多くよくわからないとの意見があった	職員の定着率を上げ、職員の適性に合った配置や職員数の確保につなげていく
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	絵カードなどを使って整備している。情報伝達は公式ラインを使っている。	はい19名、どちらともいえない1人、無回答3名 概ね良好であった	みんなが分かる掲示物の工夫を引き続きしていく
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	清掃消毒の時間は1日1回は行っている。	はい21名、どちらともいえない1人、無回答3名 概ね良好であった	引き続き施設の美化活動に取り組んでいく
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	会議の時間を設けたり、1日の流れについて確認する時間を毎日設けている。		勤務時間の短いスタッフとの連携が難しくなることがあるので決まったことはノートなどにまとめ、引き継いでいく
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	機会があれば要請して、専門性の向上を図っている。		外部からの情報を積極的に取り入れ、広報していく
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	毎週1回程研修を行う機会を作っている。		研修会を開いたり、環境を整える必要がある
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者との面談を半年ごとに行うように努め、計画を作成している。		計画書内容の重要事項を職員全体で共有し、療育の質を上げていく
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個々に合った支援方法を考えたり、プログラム内容を工夫したりしている。	はい23名、いいえ1人、無回答3名 概ね良好であった	引き続き、個に応じた計画を作成し、職員間で共有していく
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	生活、学習、運動、社会の4本柱で設定し、面談や送迎時に細目にコミュニケーションを取り、共通理解を図っている。		継続して詳しく記入・更新していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 （続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画に沿って実施できている。	はい22名、どちらともいえない1人、無回答3名 概ね良好であった	継続して詳しく記入・更新していく
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員同士の意見を重ねて、改善や立案などを行っている。		職員間でアイデアを出し合っ、子どもたちが楽しめるプログラムを増やしていく
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	休日や長期休暇については、職員数により、きめ細やかにしきれていない時もある。	はい21名、どちらともいえない1人、無回答3名 概ね良好であった	休日プログラムについて、より細かい立案を考えて全員で共有していく
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	子どもたちに飽きないように、内容を変えたり、工夫したりしている。		継続して子どもたちが楽しめるプログラムを展開していく
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎回打ち合わせなどを行い、確認している。		継続して打ち合わせを行う。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	全職員では出来ていないところがある。		打ち合わせ時に振り返りも共有できるようにしておく
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	保護者様から聞いたことや感じたことは記録にとって共有している。		継続して記録していく。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	更新時に保護者様にお声掛けをし実施しているが、保護者様のご都合で更新が遅れることもある。		いつが更新月か分かるように、保護者様にも開示する	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	外部との会議には積極的には参加できていない。		日程が把握できていないので、情報を取りに行く
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	なし		なし
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	なし		なし
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	支援や配慮が必要であると感じた場合は連絡を取り、外部から連絡が来た場合は迅速に対応する。		継続して行う
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	受け入れ利用者が小中学校生であるため、卒業後について情報提供をした実績はない。		知識が増やせるよう、研修や会議に参加する
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の促進	時間や日程が合わず参加できていない。		広報を行い、一人でも参加し、情報が共有できるようにする
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	時間や日程が合わず行っていない。		折を見て交流活動を行えるように計画を立てる。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	見学依頼などがあった場合は迅速に対応している。	はい5名、わからない5人、無回答3名 交流事業の参加や有無についてよくわからない意見が多かった	折を見て地域交流を増やせるように計画を立てる

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約の際に時間をかけて丁寧に説明をしている。	はい22名、どちらともいえない2名、無回答3名 概ね良好であった	継続して行い、質問等があったときは迅速に対応できるようにしておく
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談時に確認しながら更新したり、説明したりしている。	はい23名、無回答3名 概ね良好であった	継続して行い、質問等があったときは迅速に対応できるようにしておく
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	積極的に行えていない。保護者様からご依頼があったり、面談時にご相談があったときに行っている。	はい10名、わからない5名、無回答3名 家族支援プログラムなどの実施を希望する意見があった	折を見てペアレントトレーニングを行えるよう、計画を立てたり、保護者様のニーズに合った活動を行っていくようにする。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や面談時に積極的に話したり聞いたりしている。	はい22名、どちらともいえない1名、無回答3名 概ね良好であった	継続して実施していく
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時に時間があるときや、メールでのやり取りで悩みや相談があったときには、真摯に向き合って支援や援助の提案をしている。	はい23名、どちらともいえない1名、無回答3名 概ね良好であった	利用回数が少ない保護者様については、こちらから関わることができるので、意識して話を聞いていくようにする
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	行っていない。	はい1名、どちらともいえない1名、わからない5名無回答3名 希望する方もいらした	折を見て交流活動を行えるように計画を立てていく
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情を聞いた際には、丁寧に話を聞いて、具体的な解決方法を考え、保護者様に説明をしている。	はい16名、どちらともいえない1名、無回答3名 適切に対応して頂きありがたいとの意見もありました。	わからないという意見も多いので、不満や苦情を抱えている保護者がいないか、アンテナを立てたり、面談時に話しかけたりする。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	子どもの些細な変化や体調不良等、こまめに連絡連絡するようにしている。	はい22名、どちらともいえない1名、無回答3名 概ね良好であった	継続して情報伝達を行う。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	交流会をするときは、全家庭に参加表を配布し、参加の有無や行事の有用性を伝えている。	はい22名、どちらともいえない1名、無回答3名 個別に活動の様子を見せて頂けてありがたいとのご意見がありました	引き続き配信を続け、保護者様や利用者様のニーズに合った活動を行うようにしていく
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報が漏れないように、随時点検したり重要書類はすぐにファイリングしたりしている	はい21名、わからない4名、無回答3名 概ね良好であった	日々点検を怠らず、引き続き管理徹底をしていく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを整備し閲覧できるようにしている。	はい16名、わからない3名、無回答3名 好であった	概ね良 更新できていないマニュアルや、未発信のマニュアルを精査し、既存のマニュアルの充実を図る
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2、3回しか行えていないため全員出来ていない。全利用者が参加できるように計画する必要がある。	はい10名、わからない14名、無回答3名 できなかったとの意見があった	参加 長期休みの各曜日に複数行い、全員参加しやすいように開催時期の工夫や回数を増やすように計画を作成する
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待を防止するための資料を置き、目を通すようにしている。		現状維持
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	どういった場面で身体拘束をするのかを打ち合わせ時に話すことができている。保護者様にも了承を得ることと、行った場合はその時の状況を細かく伝えている。		現状維持
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーがある利用者様がいる場合は職員間で共通理解を行い、他の利用者様とは距離を離して食べるなどの工夫をしている。		現状維持
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例集などは作ってはいるが、振り返って見たり、共有する時間が取れていないので改善していく。		ヒヤリハットの事案を振り返る時間を作ったり、全員で再確認・再検討する時間を作る。